

科目名	商品開発	単位数	3	必修選択	必修
教科書	商品開発(実教出版)				
副教材	商品開発問題集(実教出版)				

### 教科・科目の内容

商品開発に関する様々な知識を学ぶ。

1・2年生で身に付けたマーケティング・会計の知識技能を活用しながら、地域の魅力を発見しその課題を自分ごとと捉え、チームで起こしたい変化に向け現状を掘り下げていく。富士市の課題を見つけながら地元ならではの商品開発に挑戦する。

単なる課題解決案の提案にとどまらず、活動を通じて分析を繰り返し高校生が地域に活力を与えていく。そのために、持続可能な視点で創造したモノ・コトを様々な人に繋げていきながら積み重ねていく。この科目では、実際に地域に足を運びながら思考力・判断力・表現力を中心に高めていく。

### 日常生活や将来とのつながり

1. 知識・技能を活用しながら生徒自ら主体的・能動的に学習を進めることで、生きる力を身につけることができる。
2. 地域の現状を知り掘り下げていくことで、社会での役割を考えるようになる。
3. 課題を見つけ解決していくことで、批判的思考力・創造力を身につけることができる。
4. 個人で取り組むのではなく、チームで協同しながら探ることで将来前に進んでいく力を身につけることができる。
5. 社会的課題を多角的に捉え、収支計画を盛り込むことで持続可能な社会づくりの思考を持つことができる。

### この授業の学習方法（予習と授業の関わり）

グループワークを中心に行うので、常に思考し続け意見を発信できる準備をしておく。そのために、

1. 情報を集め、自分なりの解釈をし、論理的に語れるようノート・ファイルづくりをする。
2. 新聞・関連書籍を読み、根拠を常に仕入れる。
3. 異年齢層と情報交換し多角的な考え方を用意しておく。
4. 市場動向を把握し、実現性・持続可能性を高める。

その他、社会の一員としての自覚を持ち、自主的に行うことを見つけ実行することで、無限の繋がり・広がりを経験しておく。

### 到達目標

商業の各分野に関する知識と技術を、実践的活動を通して総合的に習得させ、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。

### 評価の観点(評価方法)

#### ①関心・意欲・態度（行動観察・グループワーク・振り返り・レポート）

地域の課題や魅力を発見することができる、アイデアや企画などを生み出す方法を身につけることができる。ビジネスの視点で物事をとらえ、様々な気づきができる。

#### ②思考・判断・表現(行動観察・企画書、アイデアシートと発表)

フィールドワーク・企画書・アイデアシートをとおして自分たちの考えを伝えることができる。

#### ③技能(前提、作法、原則に従ったアイデア出し・企画提案)

3つの前提、5つの作法、3つの原則に従ってアイデアを考え、企画立案ができる。

#### ④知識・理解(定期試験・振り返りシート)

地域についての理解、商業の各分野についての知識を身につけている。

科目名	商品開発	単位数	3	必修選択	必修
教科書	商品開発(実教出版)				
副教材	商品開発問題集(実教出版)				

学期	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学期	第1章 商品と商品開発 ①オリエンテーション ②富士市の産業について理解する ③社会の現状把握 ・調査、情報収集・分析 ・情報共有、まとめと発表	商品の多様化や商品開発の意義と手順を学ぶ  ①学習の目的を示し取り組む姿勢を学ぶ。 ②富士市の産業を知り、情報収集、分析をし、 班内発表を行う。 ③外部講師による講義、ワークショップ	○			○
	第2章 商品の企画 第3章 商品の開発 ④5つの作法について学ぶ ・講義・ワークショップ ⑤富士市の魅力発見、商品開発 ⑥企画書構成、振り返り	環境分析や開発テーマの決定、企画書の作成 仕様と設計。試作品、事業計画の立案 ④i-club による講義、ワークショップ  ⑤富士市の特産物を使っての商品開発 ⑥企画書の素案を作成し発表と振り返り。	○		○	
	定期テスト			○		○
二 学期	第4章 商品開発とデザイン 第5章 商品開発と知的財産権 第6章 商品流通と流通活動 ①フィールドワーク  ②企画書作成 ③中間発表、振り返り ④企画書実現に向けて再度探る ⑤開発商品の販売実習 ⑦グループ内改善、マーケティング分析	デザインの基礎、パッケージ 知的財産権の内容、取得と活用 流通の仕組み、物流活動 ①フィールドワークから起こしたい変化を考え、 企画書を作成する。 ②富士市農政課・富士市商工会議所による講義 ③中間発表を行い、振り返り改善を行う。 ④企画書をもとに実現性を高めていく。 ⑤販売実習及びマーケティング調査 ⑦グループごと意見を交わし、マーケティング 調査の結果を分析、報告書作成	○	○		
	定期テスト			○		○
三 学期	①商品開発事業成果報告会  ②振り返り	①商品開発事業成果報告会  ・i-club・富士市農政課・富士市商工会議所・事 業者などによる講評 ②活動を振り返り、持続可能な成果に向け行動 を起こす。			○	○
	定期テスト			○		○
備 考	2年の市役所プランを受け、ビジネスの視点でまちづくり、地場商品の商品開発、観光ビジネスプランをマーケティング・会計の知識と技能を使いながら考えていく。市や商工会議所、地域事業者と連携し、プランを具体的に実行していく。 富士市の地場商品を高校生の視点で商品開発を行い、実際に行動を起こすことで富士市地場商品の市場規模拡大を図り、地域を元気にすることで社会貢献につなげる。					